

**PEPE**

**YUKIKO**

darabuchidou  
2011 Winter  
for adult only



「…なんだけど頼めるかな鳴上君？」

「ごめんもう一度言ってくれるかな？」

ドキ  
ドキ

ハキ  
ハキ

♀  
♂

「学校でね」

「男の達がクラスの××さんを女にしてやったぜーとか話してたの」

いき



千枝に女になるのは  
どういう意味か  
聞いてみたら

?

あはっ

んーっ

「男の人の協力」があつて  
なれるものかな？って

もじ

もじ

もじ

「それ以上聞いても話してくれないから今こうして鳴上君のところに来てるの」





「女になるってのは  
『大人の女性』  
つまり成人する事だよな?」

「いや...その  
ある意味では...」

「未成年のままじゃ  
旅館の女将として  
色々問題あるの」

たい  
たい

「だから鳴上君に  
私を女にして欲しいの!」

ずい

「わ...分かったよ  
だけど本当に俺でいいの?」

「じゃあ今から始めるけど  
時間とか大丈夫かな?」

「うん頼める人は  
他に誰もいないし...」

「今日は遅くまで大丈夫だよ  
それでどうすればいいのかな?  
どんな事でも頑張っちゃう」



「まずはー」

「キスするの？  
これからする事のムード作り？  
なるほど勉強になるね」

「普通のキスと違って  
唇を吸うような感じで」

あむっ

「いい調子だね  
どんどん先に  
進んじやおっか」

んぐっ

「はあふう  
これからどんな事をするか  
想像するとドキドキが  
止まらないね」

「もっと力を抜いて楽に…  
触っている手に  
体を委ねるように」

「こごめん  
少し恥ずかしくて」

少し恥ずかしくて

「ツんんん  
なんか変な気分にな  
ってきた」

「うああだめえ  
声を押さえられない」

「んはああつ  
気持ちいいのお」



「次は足コキだよ  
足を使ってチンコをしごくんだけど  
タイツを履いている時は  
絶対しないといけないから  
覚えておいてね」

「足を使うって  
難しいね」

「あう」

「最初は足の裏で  
竿を擦るだけでいいよ  
慣れてきたら合間に足指で  
包み込むようにしごくん」

「ぶぶっ慣れてくると楽しいね」

「なんたる？」

「脈打ちがどんどん激しく…」

「あぁッ  
もう駄目だ！  
出すよー！」

「チンポの先から  
噴水みたいに白いのが  
飛び散ってる！」



「汚れたチンコは  
口とかを使って綺麗にすると  
よりいい女になれるよ」



「そうなんだー  
やってみるね」

「これアイスみたいだね  
あははっアイスってチンコから  
作られてたんだ」

「うー  
ぢゃー  
ぢゃー」

「これだけ濡れていれば  
良さそうだね」

「十分にマンコが濡れてないと  
痛くて大変だからね」

「それってどういう意味？」

「チンポをマンコに入れて  
さっきの白いのを  
子宮に出すんだよ」

「んっぶうっはあ  
なんかイメージしてたのと  
違って美味しくないね」



「ええっ？  
チンポをマンコに  
入れちゃうの？」

「ええっ？」

「うん」

「あーっ  
あーっ」

「あーっ  
あーっ」

「そうだね  
これでようやく  
女になる為の第一段階が  
終了だよ」

「えっと…そのね  
これってさ  
セックスなのかな？」

「それに  
さっきの白いつて  
精液だったのかな？」

「だとしたら私  
セックスは初めてだし  
避妊しないよー」

「うぎゅううんん  
奥まで入つて来てるう  
裂けちゃうううッ」

「大丈夫大丈夫  
避妊なんて普通はしないから  
濡れていても初めてだと  
最初は痛いかもしれないけど  
そのうち良くなるからー  
じゃあ入れるよ」





「はあふん  
オマンコがジンジン  
してきてるう」

んき  
んき

んき  
んき

「ふぎゆう  
オマンコが燃える様に  
熱いよお」

「つんツ  
すごく痛いのお」

「んあああッ  
中で擦れてるのお」

「ひやうう何だか  
痛く無くなつてきたあ」

「えっ？もう痛くないの？  
雷子には意外と淫乱の気が  
強いのかもね」

「最初に手で  
されてた時のような感じで  
すごく気持ちいい」

にちゅ  
にちゅ

ぐち  
ぐち

にちゅ  
にちゅ

ちゅちゅ

みゅ

んき  
んき

んき  
んき

ぽた  
ぽた

ぽた  
ぽた

んき  
んき

んき  
んき

んき  
んき



「あうういいのお  
腰が勝手に動いちゃう」

「こんな初めてえー  
ふああつあああ」

「雪子の胸は  
色んな形に変形するね  
まるで別の生き物みたいだ」

「しかし騎上位おかげで  
根元までマン肉がチンポを  
くわえ込んでるよ」

「おまけに豪快な  
乳揺れ見れるなんて  
コレは癖になるな」

「チンポとマン」が  
いやらしい音立ててるの  
聞「える？」

「はあんん  
そんな恥ずかしいこと  
言わないでえ」



「はひひい  
自分の指だけじゃ  
ここまでなれないよお」

うあ

「セックスって  
こんなに  
よかつたんだあ」

「あうっん  
オマンコがぞくぞく疼いて  
喜んでいるのぉ」

「これで子宮に射精すると  
最高ぞくぞくの感を  
味わえるよ？」

「でも中出しされると  
お腹に赤ちやんが  
出来ちゃうんだよね？」

「たかが二、三回くらい  
中に出されても妊娠しないよ」

ズ  
グ

ズ  
グ

じ  
ぢ  
ぢ

ぞ  
く

は  
う

ひ  
び  
き

ぎ  
ゅ

ぷ  
る  
ぷ  
る

ぐ  
ら  
う

び  
ん  
び  
ん  
あ  
あ

ギ  
シ  
ギ  
シ

ち  
ん  
ち  
ん

あ  
あ

「中に出せばだすほど  
本当の女にはなれるんだけど  
それでもいいのかな？」

「あと膣射精されると  
最高に気持ちいいらしいよ」

「ふあああつ  
精子が奥で弾けてる  
いくううつ」

「はひゅう  
最高に気持ちいいの？」

「うん分かったのお  
子宮がドどろどろになる程  
いっぱい射精してえ」

「はあはあ  
一度休憩してから  
もう一回挿入してえ」

「んきゅうううツ」

「はひいたくさん中に注いで  
私を一人前の女の子にしてえ」



その後も女になる為の理由を色々付けてセックスライフを送っていたとある晩

「ああのね驚かないで聞いてくれる？」

「その…赤ちゃん出来ちゃったんだ女になるっていうのはお母さんになることだったんだね」



ハア

ハア  
ハア

たぽ  
たぽ

ハア  
ハア

ハア

ぞろ

ぞろ

ぞろ

ぞろ

# あ と が き

初めてな人もお馴染みな人もこんちわー  
皆様の下僕、だらぶちでございますー

冬は時間が無くて本を出すつもりはなかったのですが  
予想以上にP4のアニメが面白かったので  
形だけでもいいから本を出したいなーと思い  
描いたのが今回の雪子本でした  
しかし久しぶりに描いてみても  
アマアマなネタしか思いつかなかったですね  
次にP4をやる機会があれば是非とも陵辱に  
チャレンジしてみたいですね  
P4Gにハイレグアーマーが出たら  
直斗の陵辱本を出すんだ…

本の感想や雑談等で何かありましたら  
奥付にあるメアド及びホームページの  
Web拍手なりでお願い致します～

それではまたお会いしましょう～  
ではでは～

※ 可愛い雪子にしようか迷ったけど  
で躊躇にした  
りもエロさを取るのが  
クオリティ



PEPE

YUKIKO

darabuchidou  
2011 Winter  
for adult only

発行人：だらぶち堂  
だらぶち

印刷所：ねこのしっぽ 様

E-mail: [darabuch@qj9.so-net.ne.jp](mailto:darabuch@qj9.so-net.ne.jp)

U R L : <http://www016.upp.so-net.ne.jp/darabuchi/>

18歳未満は閲覧購入禁止